

令和2年 12月10日

futbol y vida



Poco a poco ...
Poco a poco ...

新人戦初陣を 3-0 勝利で飾る!!
次は、八王子の老舗“松が谷”に挑む!!

新チーム公式戦の初陣は、厳しい闘いを勝利で飾る!!

次戦は、常に一步先行く難敵:松が谷高校に挑む!!

11月29日(日)、新チームの初公式戦となる新人戦(兼関東大会予選) VS 翔陽高校が、片倉高校グラウンドで行われました。残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今大会も無観客試合での開催となり、保護者の方々も楽しみにしていた新チームの初陣の応援は次回へお預けとなりました。昨今の感染者の増加の推移と情勢を考えると、今年度の公式戦の観戦は難しそうですね。その分、TRMは是非観戦に来て応援して下さい。

初戦の対戦相手の翔陽高校は二年生主体の勢いのあるチーム!!

さて、初陣の対戦相手の翔陽高校は、初戦を7-1と大勝して勝ち上がってきました。二年生主体のチームで全体的に身体の高い選手が多く揃っていて、先の選手権予選でも調布南高校に終了直前まで0-0と善戦するのも頷けるチームです。一方、片倉高校のスタートメンバーは、選手権経験者が二年生の二名のみで一年生が八名と、公式戦初出場者が多く経験不足で相手の勢いに飲み込まれないかが懸念材料でした。

その予想通り、立ち上がりの10分間は、相手の勢いに自陣に押し込まれる展開で凌ぐ時間が続きました。しかし、相手の勢いに慣れてくると、次第にこちらのリズムとなり、相手陣地での攻撃時間が増えてきました。特に、両サイドの突破から優位に立つと、ゴールこそ生まれませんでした。ゲームの主導権を握ることができ、前半を0-0で折り返しました。後半に向けては、センターラインでのボールロストが目立ち、カウンターやセットプレーでピンチを作ることがあったので修正し、まずは、先制点を奪って精神的に優位に立つことを指示して送り出しました。



<新チーム初公式戦のラインアップ!!>



<ゴールに歓喜の輪が広がる!!>

後半は、日頃のTR&TRMの成果が出る!!

後半は、途中で相手の足が止まったこともあり、相手陣地内でのプレー時間が増えこちらのペースでゲームを進められました。すると、後半10分過ぎにCKの流れから**小林凌(2年)**の放った25mあるミドルシュートが見事に決まり先制。飲水タイム前にも、FKから相手のミスを誘い追加点を奪うなど理想通りの時間帯にゴールが生まれ序盤で優位に立つことに成功しました。その後は、前掛かりになってきた相手の裏のスペースを突きチャンスを作るものの得点にはなりませんでしたが、後半30分に右サイドを**亀井(1年)**が突破してセンタリングを上げると、練習通り**横山(2年)**がニアで合わせてゴールを決め**3-0**とし、これで勝負がありました。最後まで諦めずに粘る翔陽高校をノーゴールに抑えて新チームの初陣を白星で飾ることができました。

さて、今回の初陣勝利の要因は、技術や戦術ではなく、「**走り勝った!!**」の一言に尽きます。10月に新チームとなり、一年生は今までの積み上げが実り、二年生は新たなトレーニングに身体も慣れてきたところです。日頃のTR量と強豪校とのTRMの数こそが、このゲームの勝因だといっても過言ではありません。フィジカル面は技術と違いやった分だけ自分に跳ね返ってきます。公式戦終了後には、出場機会に恵まれなかった子どもたちも**東大和高校**とTRMを行うなど、次の**松が谷戦**に向けて準備に余念がありません。次戦の常に一步先を行く**松が谷高校**に、新チームがどこまでやれるか楽しみです。



<タイムアップの笛は次のゲームの開始の笛でもある>

濃厚な? 高校三年間で人の繋がりを作る!!

公立学校は、私学と違い一定の周期で教職員の異動があります。これは、私たちの宿命なので受け入れ(諦め?)なければなりません。早いもので、私が片倉高校へ赴任して九ヶ月が経ちました。その間、前々任校、前任校のサッカー部の**OB**たちが、連絡をよこしたり勇気を持って会いに来て練習に参加してくれます。中には、無償でアシスタントコーチになって手伝ってくれているものもいます。恐らく、**OB**にとって現役時代は出来ることなら顔も合わせたくないし話したくない面倒な存在だったと思います(今でもかな?)。

話す内容は、近況報告や進路のこと、家族、友だち、彼女など他愛もないことですが、やはり一番盛り上がるのは菅平合宿や遠征先での出来事と日頃の練習内容(特に、走りメニュー)についてですね。これだけで、子どもたちは何時間も語れるようです。サッカーのために覚悟を決めて、多くのことを我慢し犠牲にして打ち込んできたからこそ分かり合える仲間たち。高校の三年間は、サッカー部の仲間同士と一番長く、濃い時間を過ごしてきました。そこで経験したことや多くの人との繋がりは一生涯のものであり、いつまでも大切にしたいと思っています。

しかし、母校はあっても先生方の異動により集まれる場所がないのが公立高校卒業生たちの厳しい現状であります。暫くは、私の**OB**たちの集いの場「**Football Café**」としてここを提供して、サッカー部に還元させていきたいと思っています。そして、いつの日か片倉高校サッカー部も“**一生の思い出に残るクラブ**”に成長して欲しいと願っています。

<After the Game>

いよいよ、松が谷高校戦まで三日となりました。今回は完全アウェイでの厳しい闘いが待ち受けていますが、二週間のTR成果を出して勝利を掴み取りたいと思います。

保護者の皆様、当日は、松が谷高校グラウンドに向かって「**勝利**」を念じてください。